



～その人らしさを大切に～

灘海園の

移転新築工事に着手



灘海園完成予定鳥瞰図

【新築施設の概要等】

- 敷地面積 10,095m²
- 建物の概要
 - 鉄筋コンクリート造 3階建
 - 延べ面積 6,403m²
- 施設の概要
 - 個室ユニット120室（入所100人、短期20人）
 - 通所介護事業所（30人）
 - 訪問介護事業所
 - 居宅介護支援事業所

灘海園は、現施設の老朽化等が著しいことから、利用者の方々の安心・安全性の確保、快適な生活環境を提供するため、平成二十二年に岩国市中心部の愛宕山地区の丘陵地に土地を購入し、移転新築（新型特養個室ユニット型）することとしたものです。

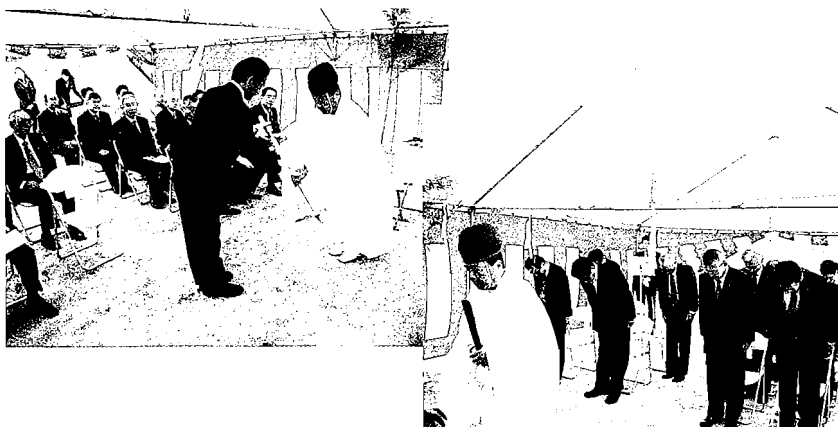
建物の設計は、効率的な土地利用、個室ユニットケアの特長を生かした居住環境づくり、利用者と家族との交流スペースづくり等と設計の基本とし、（株）異設計コンサルタント（光市）に委託して実施しました。

建築工事は、平成二十三年十月十四日に厳正な入札を行い、「太昭組・日栄興業特定建設工事共同

企業体」（岩国市内の建設業者）が落札し、同共同企業体と工事請負契約を締結し、工事に着手しました。

十一月二十一日には、安全祈願祭が執り行われ、大窪理事長をはじめ、建設関係者など約二十名が参列し、建築工事期間中の安全を祈願いたしました。

現在、本年十二月末の完成に向けて、着実に工事が進められています。



施設からのたより

灘海園移転に

向け

灘海園は、愛宕山移転に向け、現在移転新築工事が行われていきます。

移転するに当たり、建物だけでなく、ソフト面でも、これから個室ユニット化に対応し



また、配置が必須となるユニットリーダー研修を受講したり、電磁調理器をはじめとした新しい器具の活用方法を学んだり、集団ケアからの脱却を図るべく、十名程度のグループを作って食事提供の



シミュレーションをしたり、どんな物品が必要か検討したりと、全職域で移転への準備をしています。

法人の理念である「その人らしさを大切に」が、ユニットになって更に充実していきけるよう、今まで以上に家庭的なケアを推進していきたいと思えます。

灘海園

介護員

谷本 雄一郎

「もしもの時」に思うこと

我が園は三田尻湾岸付近の塩田跡地に建っており、「もしも大地震で津波が発生したら・・・」

十一月三十日、利用者全員を対象に、地震発生による津波警報発令を想定した避難訓練を、次の手順で行いました。

- ①避難口を確保する。
- ②職員が安全な場所へ誘導するため、自分の判断で行動せず、その場で待つよう放送をかける。
- ③居室から中庭へ誘導し点呼を取る。
- ④二台の車でソルトアリーナまで順番に搬送



する。
真剣な表情で参加した利用者から「本当の時はどうしたらいいかわからんよね。逃げても津波じゃ助かるかどうか。」と立地条件を案じてか、諦めムードの言葉も聴かれました。

突然の災害や惨事が起きた場合、居合わせた職員の判断と行動（采配）が利用者の生死を左右するため、日

常活動の中で「もしも」を想定し、冷静に行動できるように訓練を積み重ねることが重要だと改めて感じました。
窮地に陥ったときには、利用者と職員の信頼関係が大きく影響することを教訓に、日々の支援に取り組みなければと痛切に思います。

華南園

主任

嶋田 美智枝

施設からのたより



今年度より、当学園 つとして、「生け花教室」における日中活動の一室」が加わりました。

隣接する華南園にて行われる生け花教室に、参加させてもらうといった形ですが、利用者にと

はじめのうちは、戸惑いを見せている利用者も、時間が経つにつれ、積極的に、花を生け始めます。自分の作品が完成すると、「良かった。」と言いながら、学園まで持ち帰り、笑顔で、職員に見せび

「華」に「花」を



午前中は、平成二十一年七月の豪雨土砂災害により被災したライフケア高砂の竹本生活相談員による「被災状

況と今後の課題」についての講義、午後からは、山口国体でボランティア養成・県民運動のPR活動等をプロデュースした、おいでませ山口国体！山口県民きらめきセンター長の平田氏による「皆が元気になるプロデュース」多くの人を巻き込む企画・事業」についての講演をしていただきました。

つては、「楽しい！」と、とても好評です。職員が付き添い、先生の指導のもと、花を選び、ハサミで切って、剣山に刺すといった流れです。

去る十二月二十六日、地元、東和中学校の皆さんを迎え、交流会が行われました。

当日は、みかんの収穫、皮むき、豆茶収穫、土鈴の絵付けの四グループに分かれての体験交流会となりました。

「みかんの皮むきはすぐ親指の付け根が痛くなるけど、辛いとは言わず楽しそうに作業されていました。僕は

利用者さんにとっても若いエネルギーにふれあえる貴重な経験となりました。

午後からは昼食交流をはさみ、マウンテンマウスさんのライブで歌い踊り大いに盛り上がりました。

「みかんの皮むきはすぐ親指の付け根が痛くなるけど、辛いとは言わず楽しそうに作業されていました。僕は

利用者さんにとっても若いエネルギーにふれあえる貴重な経験となりました。

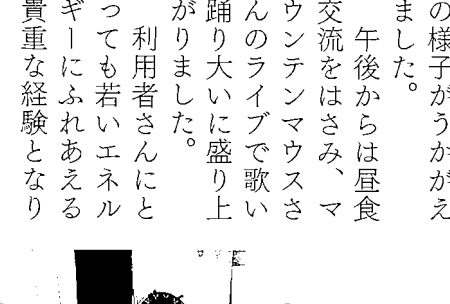
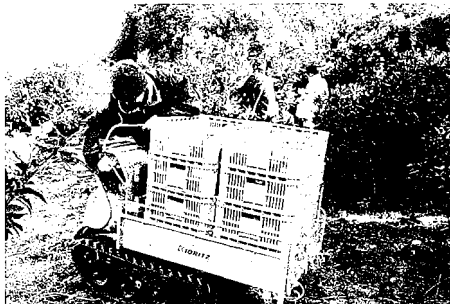
ちよるるの目から鱗な話

当日は、十四施設十九名の参加があり、災害時に求められる生活相談員としての役割・備えについて聞き、地域を巻き込む企画力・運営力について学ぶことができました。

東和中学校のみなさんとの交流会

「みかんの皮むきはすぐ親指の付け根が痛くなるけど、辛いとは言わず楽しそうに作業されていました。僕は

利用者さんにとっても若いエネルギーにふれあえる貴重な経験となりました。



施設からのたより

メリー クリスマス!



劇を演じる。幹事が知恵を絞っただけに、中々の反応。終わった後、顔見知りの利用者から「とっても面白かったよ。」とのお言葉

十二月二十一日、クリスマス会を開催。各棟で、いかに利用者の皆様に楽しんで頂くか、工夫を凝らしての開催です。

ちなみに、我々の棟は二つの棟の合同により開催しました。利用者の方々は日頃見慣れない介護員を見て、「あの人誰?」「あのお兄ちゃん、かっこいいね。」と語りあい、それだけで新鮮な印象を持たれていたようです。

「あんなのが若い人達に合わせようとしちゃったのが、よう判ったよ。ご苦労さん。」思わず内心「???あの子、まだまだ若いんですけれど。」利用者の方々は、メリークリスマス!良いお年をお迎え下さい。

伊保庄園 主任
山崎 利直



追われるように時間が流れ、目の前のするべきことをこなすだけの生活になりがちというのではないのでしょうか。

そんな中、毎年いろいろな方々のご好意で、学園の子ども達は「ごころ潤う時間」をいただいています。

十一月には、劇団演劇街の方々による『ゴローシユ』への招待、クリスマス会にも来園され、『はらぺこおおかみと赤ずきん』を上演していただきました。

子ども達の感想の中に「気持ちがいい。」「おもしろい。」「かわいそう。」という「ごころの動き」を見つけると、この子の人生の中に「宝物」が増えたなあくと、こちらまで潤って



十二月にも、山口南ロータリークラブ様のご招待による「山口きずな音楽祭2011」を鑑賞し、心に染み込む歌声に「涙が出そうになった。」との感想。私たちにとって、大切なものは何かを考えさせられる時間をいただいたことに感謝です。

山口県みほり学園 主査
粟屋 久美子

「未来の戦士たち」



最近、特に週末には、子どもたちが「何かやることない?」「お手伝いは?」と、職員のお尻を叩きにやってきます。

児童センターで遊んでいた子どもたちの中で、いつしか「みんなの役に立ちたい。」「何かやらなくては?」という思いが強くなり、学校も学年も違う子どもたちが、一人、二人と集まり、現在では十五人となりました。

そこで、「子どもボランティア」の名札(職員と同様の物)を作成

山口県児童センター
児童厚生員
林 玲子

新規事業の取組み

安心した在宅 支援を目指して

平成二十三年十月より居宅介護支援事業所を開設し、現在、岩国市を中心に事業展開しています。



これまででは施設サービスしかありませんでしたが、現在、地域で暮らしている方が安心して在宅生活を過ごしていけるよう、介護保険サービスはもちろん、介護予防（委託）や介護相談等を行っています。

ゼロからのスタートのため、老人クラブや地区サロンにも伺い、介護についての説明や、民生委員、福祉委員さんにもご挨拶をさせてもらっています。

地域の福祉ニーズに即したサービスが展開していけるよう、励んでいきたいと思えます。

灘海園居宅介護支援事業所
管理者 景浦 佑

『デイサービスセンター』が始動

平成二十四年新春から、伊保庄園が行う事業に、「デイサービスセンター伊保庄園」が加わりました。

事業規模は定員十五名の小規模型で、地域で生活される利用者の皆様のライフスタイルに応じ、少人数ならではのきめの細かいサービスと、居心地の良い「もうひとつの居場所」を提供できるよう、事業を展開してまいります。

スタッフが少人数ですが、事業開始に至る今日まで、どの職員も初めてのことで、暗く模索の状況にあって、それぞれが試行錯誤し積極的に意見を出し、協力し合う「チーム赤い鳥」※（赤い鳥は、伊保庄の地名に由来する鳥をイメージし、デイサービスのキャラクターとして新人介護員がデザインした

もの）が一丸となり、準備を進めてまいりました。

このスタッフであれば、利用者ニーズを追求した、臨機応変なサービスができる事業所を目指せると、心強さを感じているところです。

この事業においては、後発部隊であり、当面は厳しい状況が想定されますが、地域の中の「もうひとつの居場所」として選ばれる事業所を目指し、前を向いて進んでまいりますので、温かく見守って頂きますようお願いいたします。

デイサービスセンター
伊保庄園
主査 松原 聡



『華南園相談支援事業所』が開所

「何とか障害のある息子に住み慣れたこの地で自立した生活を送りたい。」「いずれは施設入所を考えているけど、自分が元気な内は、家庭で面倒をみながら、昼間の支援事業を利用したい。」など、日々の暮らしの中で抱えているニーズや課題にきめ細かく対応し、障害のある方やその家族にとって、適切な福祉サービスの提供に繋がっていくため、平成二十三年十二月一日、地域福祉の拠点を目指して、『華南園相談支援事業所』が開所しました。

当初、十月開所を目的に準備を進めていたが、相談支援専門員の確保の問題等もあって、二ヶ月遅れの開所となりました。

これまで、在宅福祉の充実の一助とするため、平成二十一年度の新体系への移行を契機に、サービス管理責任者が窓口となり、各種の相談に対応してきました。最初は、入所者の相談が主なものでしたが、外部からの相談も徐々に増え、短期入所利用や日中の生活介護利用に繋がったケースもありました。

本格的な相談支援事業の開始を契機として、障害のある方が、自立した日常生活や社会生活を送ることができるよう、今後、関係施設や行政機関とも連携を深めながら、相談支援事業所の更なる機能強化や体制整備に取り組み、地域から信頼され、頼れる事業所を目指して頑張っていきたいと、こころ新たにしています。

華南園相談支援事業所
相談支援専門員
矢富 紀子



職員紹介コーナー

業務の中で特技を活かしたり、利用者の皆様楽しんでいただけるような工夫をしたりと、各施設・事業所でキラッと輝く職員を紹介します。

- ①所属・職・氏名
- ②輝いているポイント
- ③紹介者 職・氏名

伊保庄園



- ①特別養護老人ホーム 介護員
浴 恵さん
- ②壁面を季節ごとに彩ってくれている介護員を紹介します。クリスマスにはツリーができ、お正月には門松ができ、園内においても四季を感じることが出来ます。香には桜も咲きますので、是非、お花見にきてください。
- ③介護員 中川 周治

伊保庄園



- ①居宅介護支援事業所 ケアマネジャー
脇村 敦子さん
- ②今年度からケアマネジャーになり、「まだ慣れないことが多く、周りの皆さんに相談しながらやっています。」と話す脇村さん。彼女の良いところは聞き上手なところ。利用者の方々は気持ちよく話ができています。
- ③介護員 勝岡 路恵

オアシスはぎ園



- ①特別養護老人ホーム 介護員
山中 久義さん
- ②26歳のフレッシュな風を巻き起こしています。少しリバウンドを気にしながら、身の毛もよだつ親父ギャグで、毎日、利用者・職員を和ませてくれています。只今、料理が得意なのを活かして、クッキング会を企画中です。
- ③介護員 井上 和亮

オアシスはぎ園



- ①デイサービスセンター 介護員
波多野 京子さん
- ②やる気充分で明朗な性格です。利用者の気持ちを察し、かゆい所に手の届く介護を目指しているようですが、時々空回りして落ち込む力強い介護員です。資格取得にも積極的に、介護福祉士に合格し、次はケアマネにと意欲を燃やしています。
- ③管理者 黒瀬 丈義

華南園



- ①障害者支援施設 管理栄養士
小路 美智子さん
- ②pcのどんなトラブルにも対応できる業者顔負けの「パソコン先生」です。メカに強く、事務処理もテキパキこなすやり手職員ですが、生花にも造詣の深い優しい女性です。本園では、「スーパー栄養士」と呼ばれています。
- ③支援サービス課長 湯面 桂子

山口県みほり学園



- ①情緒障害児短期治療施設 児童指導員
村田 由紀江さん
- ②子どもの心に寄り添う落ち着いた支援で、子ども達からとても信頼されています。その源となっているのは、笑顔が素敵な旦那様と5月に結婚されたから。家庭では愛妻弁当で旦那様の心に寄り添っているみたいです。
- ③指導課 主任 花岡 博子

灘海園



- ①特別養護老人ホーム 機能訓練指導員
中島 和生さん
- ②日々利用者さんと一緒に集団リハビリを中心に活動しています。訓練室では毎日元気な声が聞こえ、利用者さんも笑顔で歌をうたったり、楽しく体を動かしています。まさに元気の源です！
- ③介護サービス課長 中川 和子

伊保庄園



- ①訪問介護ステーション 訪問介護員
中本 美穂さん
- ②歌って踊って、明るくて、優しい…新人の中本さんを紹介！趣味でやっているダンスのインストラクターの経験を活かして、利用者の方に明るく接し、気持ち良く過ごせるように家事援助も頑張ってくれています。
- ③サービス提供責任者 伊藤 純子

伊保庄園



- ①デイサービスセンター介護員
岩本真喜子さん・新井淳子さん・久保文乃さん
- ②1月に伊保庄園デイサービスセンターがオープンしました。アクティビティの充実など、スタッフ一人ひとりの持ち味を活かし、笑顔と温かみのあふれる施設となるように頑張りたいと思います。
- ③看護師兼機能訓練指導員 土江 友美

オアシスはぎ園



- ①グループホーム 介護員
生田 渉さん
- ②持ち前の明るさで、目の前の利用者をたちまち笑わせる技術を持っています。何よりも人を笑顔にさせることが自分の喜びです。福祉の基礎を学びながら、利用者に寄り添ったケアの実践を目指しています。
- ③介護員 土田 貴正
管理者 福島 有真

たちばな園



- ①障害者支援施設 生活支援員
清水 達哉さん
- ②清水さんは園一番の若手職員ですが、一人ひとりの声にしっかり耳を傾け、何が必要なか、大切なのか、利用者さんの思いに寄り添って考えることが出来る素晴らしい職員です。時にはギターを持ち出し一緒に歌うなど、誰からも愛され信頼される存在でもあります。
- ③生活支援員 七瀬 宏

華の浦学園



- ①肢体不自由児療護施設 管理栄養士
廣中 麻未さん
- ②早くも利用者さんの胃袋を掴んで離さない彼女はピカピカの1年生。切り札はソース。ソースを使って利用者さんが食べ易いようにアレンジしたり、1つの素材を和・洋・中に変身させる。食事の時間が待ち遠しい。
- ③支援サービス課長 岡村 育子

山口県児童センター



- ①児童厚生施設 主任
堀 伸江さん
- ②児童センターをご利用される方々に、安全に楽しんでもらえるよう、早朝からお掃除、点検等、頑張っておられます。いつもさわやかな笑顔で心あたたまろうぐいす嬢は、児童センターの看板職員です。
- ③児童厚生員 林 玲子

施設間派遣 研修報告

灘海園での 研修を終えて

十一月三十日、灘海園で一日研修させていただきました。

その日は誕生日会で、ご家族との交流や、ご本人・ご家族の要望に応える姿勢の大切さを学びました。

昼食時には笑顔が溢れ、食事の素晴らしさを再確認しました。

食事形態についても、安全性を確保した上で、より普通食に近い状態で提供できるよう、他職種で検討されていきました。

たちばな園と違い、灘海園では利用者さんの状態の変化が頻繁にあるようで、その都度適切な食事を提供するため、廊下や食堂等で

多職種が食事について意見交換し、情報を共有されていました。

たちばな園の利用者さんも高齢化が進んでいます。安全で楽しい食事の提供のため、灘海園で教えていただきたいことを実践していきたいです。

たちばな園
管理栄養士
黒瀬 有紀



オアシスはぎ園への 派遣研修

普段は主に厨房の中に入りますが、今回の派遣研修では実際に利用者さんのいる現場に出て調理をし、移転に向けての課題を肌で感じることができました。

デイサービスの食事では、心のこもったおもてなしが感じられ、盛りつけも丁寧・綺麗で、厨房も衛生的で気持ちの良い所でした。グループホームでは、実際にキッチンに

派遣研修

入り、利用者や介護員と一緒に調理をさせて頂きました。料理を作りながら利用者との話をしたり、見守りをするのは、予想以上の気を遣います。利用者の状態について情報交換をし、きちんと把握しておくことが重要であり、職種に関わらず、密に連携をとっていくことが大切だと実感しました。

移転後は、各ユニット

トで食事の温めを行ったり、個別の利用者対応が当たり前となること、デイサービスの開設等、業務内容や時間配分も変わるため、調理員の人材集めや育成が重要になってきます。

今後、ユニットでの調理や衛生管理をしっかり行うための、マニュアルを作成することが大切だと感じています。

ます。そして、美味しく喜んで食べて頂けるような食事を提供できるように、頑張っていこうと思います。

灘海園
調理員
清水 貴子



華南園での 研修で 学んだこと

十二月初旬、華南園へ研修へ行く機会をいただきました。

機能訓練では理学療法士によるマッサージやストレッチなど専門的なアプローチが行われ、また、個人に合わせたクッションが作られており、専門職ならではの取り組みを感じました。

余暇活動では、カラ

オケを一緒に行い、歌謡曲を歌って過ごす方や好きな歌に合わせ楽しそうに大きな声を出す方など様々な楽しみ方がありました。

普段、伊保庄園でもカラオケを行います。が、つつい上手に歌えることを目指したり、そういった声かけをしてしまいます。

一人一人に応じた楽

しみ方があり、それを支援し一緒に楽しむことが大切なのだとも再確認しました。

本年一月よりデイサービスが始まりました。今回の研修で感じたことを活かして頑張りたいと思います。

デイサービスセンター伊保庄園
看護師兼機能訓練指導員
土江 友美

新任職員紹介



華南園
生活支援員
阿部 果奈子

華南園に勤務して、初めて経験することが多く毎日が充実しています。
先輩や上司の方の指導を仰ぎながら、利用者さんに信頼していただける職員を目指して頑張っていきたいと思ひます。
(平成23年11月1日採用)



伊保庄園
看護師
佐藤 典子

これから、利用者様が快適に園で過ごして頂けるよう、援助していきたいと思ひます。
楽しい職場、施設づくりが出来るようになっていきたいです。
(平成24年1月1日採用)



たちばな園
看護師
平井 初美

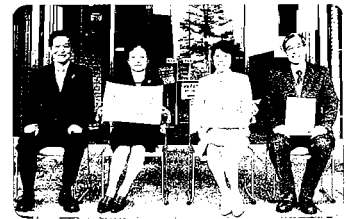
昨年まで嘱託職員として勤務した後、この1月から正規職員として勤務しています。まだわからないことも多く、皆さんにご指導いただきながら成長して行こうと思ひます。よろしくお願ひします。
(平成24年1月1日採用)



華南園
看護師
上田 富美恵

これまで5ヶ月余り、嘱託職員として勤務してきました。日々分からないことばかりで、仕事を覚えていくことに一生懸命でした。これからは、利用者さんの健康管理に万全を期すよう尽力していきたいと思ひます。
(平成24年1月1日採用)

平成23年度表彰



平成23年秋の叙勲 (瑞宝双光章)

灘海園 介護サービス課長 中川和子
長年特別養護老人ホームにおいて入所者の介護業務に精励したことにより受章

社会福祉功労者厚生労働大臣表彰

山口県みほり学園 副園長兼指導課長 白旗晃純

人命救助に対する警察署長表彰

灘海園 看護師 矢野聡美

初期消火活動支援による消防署長感謝状授与

伊保庄園 介護サービス課長 岩重好恵

永年勤続表彰

【事業団表彰】

灘海園 介護サービス課長 中川和子
児童センター 主任 堀 伸江

【全事協表彰 勤続20年】

伊保庄園 主任 山崎利直

山口県総合福祉大会表彰

【山口県知事表彰】

灘海園 園長	田代修一
伊保庄園 介護サービス課長	岩重好恵
華南園 支援サービス課長	湯面桂子
華の浦学園 支援サービス課長	岡村育子

【山口県社会福祉協議会長表彰】

灘海園 主任 松井久美子

【山口県老人福祉施設協議会長表彰】

灘海園 園長 田代修一

【山口県身体障害者更生援護施設連絡協議会長表彰】

華南園 調理員 藤津澄子

【山口県児童入所施設連絡協議会長表彰】

山口県みほり学園 調理員	中川芳子
山口県みほり学園 主任	藏重真昭

人事異動のお知らせ

【退職】

華南園 看護師	松尾美代子	(平成23年7月31日付け)
オアシスはぎ園 看護師	三本松茂雄	
華南園 看護師	相馬 珠美	(平成23年12月31日付け)
伊保庄園 看護師	木村 正美	(平成24年1月31日付け)

【採用】

華南園 生活支援員	阿部果奈子	(平成23年11月1日付け)
伊保庄園 看護師	佐藤 典子	
たちばな園 看護師	平井 初美	
華南園 看護師	上田富美恵	(平成24年1月1日付け)
灘海園 看護師	中澤ひとみ	(平成24年2月1日付け)